

感染症発生動向調査定点データを用いた インフルエンザ罹患数推計の見直し

2015年の推計値、単位万人

現行法（医療施設数を用いた推計）：1227.3 (95%信頼区間：1183.4-1271.1)

医療施設数で割り戻し

$$\text{定点のインフルエンザ報告数} \div \text{定点の施設数} \times \text{全医療施設の施設数}$$
外来患者延数を用いた推計：809.2 (95%信頼区間：774.9-843.4)外来患者延数^注で割り戻し
$$\text{定点のインフルエンザ報告数} \div \text{定点の外来患者延数} \times \text{全医療施設の外來患者延数}$$
^注医療施設調査（2014年9月）による外来患者延数を使用

現行法の課題

単純に医療施設数で割り戻す現行の方法では、医療機関の規模などが反映出来ず、インフルエンザ罹患数推計が過大となる傾向が明らかになっている。（参考資料1－2）

医療施設調査において、医療機関における外来患者延数が定期的に収集されており、外来患者延数を用いて推計する方法に改めることが最善である。

（参考値：2012/13シーズンについて、NDBによる推計値、現行法および補助変数を用いた推計値とを比較すると、補助変数を用いた方法の推計値は、NDBによる推計値に近い：参考資料1－3）

厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業
「新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメント」

医療施設調査での医療施設特性別の外来患者延数の平均値（2014年9月）

		①病院の 小児科	②小児科を有 する一般診療 所（主たる診 療科目が小児 科）	③小児科を有 する一般診療 所（主たる診 療科目が小児 科以外）	④病院の 内科	⑤内科を有す る一般診療所 （小児科を有 しない）
<u>医療施設</u>	施設数	2,328	5,840	13,616	7,025	37,654
	外来患者延べ数 の平均値（人）	667.4	1,068.4	1,059.3	1,332.9	904.8
<u>インフルエンザ 定点</u> ^{#1}	施設数 ^{#2}	631	1,882	975	505	627
	外来患者延べ数 の平均値（人）	949.3	1,176.4	1,552.7	2,170.7	1,248.6
	比 ^{#3}	1.4	1.1	1.5	1.6	1.4

^{#1}：外来患者延べ数が得られた施設のみとした。

^{#2}：週ごとの報告あり施設数の年間平均値とした。

^{#3}：外来患者延べ数の平均値について、医療施設のそれに対する比。

医療施設あたりの外来患者延べ数の平均値を比較すると、インフルエンザ定点である医療機関の平均値は、全医療機関の平均値より大きい。

現行法の推計値と参考値としてのNDBデータとの比較

2012/2013シーズン		人数（万人）
インフルエンザ	現行法による罹患数推計値	1,180
	NDBによる患者数推計値#1	763
	比#2	0.65

NDB：レセプト情報・特定健診等情報データベース

#1：NDBによる患者数をカバー率（電子レセプトの割合；95.5%）で除した推計値

#2：（NDBによる患者数推計値）／（現行法による罹患数推計値）の比

NDBによる推計値／現行法の推計値＝0.65

外来患者延数を用いた方法の推計値／現行法の推計値＝0.66

⇒ 外来患者延数を用いた方法の推計値は、NDBによる推計値に近い